

日本国憲法における人権保障に関する次の記述のうち妥当なのはどれか。

1. 基本的人権は、天皇からの恩恵として、国民に与えられたものである。
2. 国は、法律の根拠があれば、基本的人権に対していかなる制限を加えることも許される。
3. 国民は、基本的人権を濫用してはならず、常に公共の福祉のために利用する責任を負う。
4. 基本的人権は個人の権利であるから、会社などの法人には保障されない。
5. 基本的人権が私人同士の間で侵害された場合、裁判所は、憲法の基本的人権の規定のいずれについても、私人間の関係に直接適用して紛争を解決する。

初級試験等
教養試験

出題分野 社会（法律）
正答位置 3

金属に関する次の記述のうち正しいのはどれか。

1. 金属では原子間を価電子が自由に動き回っており，これによって熱や電気が運ばれるため，金属は熱や電気をよく通す。
2. 金属結合は他の化学結合に比べて非常に強固であるため，金属は薄く延ばしたり曲げたりしにくい。
3. ほとんどの金属元素は天然には単体として存在しており，天然に化合物の形で存在する金属元素はわずかである。
4. ナトリウムやマグネシウムなどの軽金属は，化学的に安定であるため空气中で酸化されにくく，水とも反応しない。
5. 鉄を主とするステンレスのように，金属に別の金属を混ぜ合わせた合金は，一般に元の金属よりも丈夫であるが，さびやすい。

初級試験等
教養試験

出題分野 自然(化学)
正答位置 1

A～Gの7人が写真撮影のためにカメラの方を向いて横一列に並んだ。次のことが分かっているとき、確実に言えるのはどれか。

- ・ AはBよりも左におり，間には4人いた。
- ・ CとDは隣り合っていた。
- ・ CとFの間には2人いた。
- ・ DとEの間には3人いた。

1. AとDの間には1人いた。
2. AとFは隣り合っていた。
3. BとCは隣り合っていた。
4. BとGの間には1人いた。
5. CとGの間には1人いた。

初級試験等
教養試験

出題分野 判断推理（言語）
正答位置 5